

第2期 ベンチャー企業への出資研究・実践フォーラム

～ベンチャー/スタートアップ企業出資への手法を巡る諸課題と対応策に関する共同研究と相互啓発～

■開催趣旨

IoT、AI、FinTechなどの技術的発達が生産的・社会的な変化をもたらしつつある昨今、世界中の企業が新技術、新事業の獲得競争を加速させています。そのような環境変化に対応するために、大企業によるベンチャー企業への投資が活発化しています。そのための仕組みとして、CVCファンド(Corporate Venture Capital Fund)の設立を含め、ベンチャー企業への出資が相次いでおります。ベンチャー企業への出資の狙いは、新規事業開発や既存事業の強化であり、大企業にとって非常に有効なツールでありますが、一方で、成果を出すには一定のノウハウが必要であります。当フォーラムでは、ベンチャー企業との協業を促進していく上での

① 立上げの苦労 ② 投資先の苦労 ③ 本社内での説得の苦労
等につきまして、一企業では難しい課題解決・発展のヒントと推進の活力を得ていただくことを目的としております。さらに、業種を超えた人的形成と協力関係が生まれる場としてもお役立ていただきたいと存じます。

■ 参加対象	■ 会場案内
本フォーラムの主旨に賛同し、情報交流、相互啓発に積極的に参画していただける方。各企業の企画・経理。技術センター・イノベーション推進室等を担当する経営幹部およびスタッフの方々。	東京：表参道アイビーホール 京都渋谷区渋谷 4-4-25 TEL 03 (3409) 8181 銀座線・半蔵門線・千代田線下車 表参道駅下車 (B3 出口より徒歩 5 分)



第1回例会 2019年6月28日(金) 14:00 ~ 18:00 於：東京・表参道 アイビーホール

◆ 講演① 「NTTドコモ・ベンチャーズにおけるベンチャー投資・事業共創の取組みと展開」～日本のスタートアップ企業を支える実践投資へのアプローチ～

1997年 日本アイ・ビー・エム(株)入社。システムズ・エンジニアとして長野オリンピック・プロジェクト、大手通信会社、政府系公社の情報システム開発と運用に従事。MBA 留学の後、IBMビジネスコンサルティングサービスの戦略コンサルティング部門にて事業戦略コンサルティングプロジェクトに従事。2011年にインテル(株)入社。CVC 部門のインテルキャピタルにて日本市場のベンチャー投資を担当。2019年(株)NTTドコモ・ベンチャーズに参画し、Managing Director 就任。慶應義塾大学経済学部卒、London Business School MBA



講師：(株)NTTドコモ・ベンチャーズ マネージングディレクター 浅田 賢氏 ※レジメ・サマリーは次項をご覧ください。

第2回例会 7月24日(水) 14:00 ~ 17:00 於：東京・表参道 アイビーホール
シリコンバレーからのゲスト講師

講演② 「医療機器ベンチャーの面白さと難しさ：シリコンバレーと日本の相違」(現役医師のVC戦略)～国内外の医療業界のイノベティブなベンチャー企業の発掘・投資・支援活動の推進～

2001年3月まで日本国内にて僻地を含む知己医療に9年間従事したのち、2001年4月からシリコンバレーに移住。スタンフォード大学医学部で研究に従事するかたわら、医療関連のスタートアップ企業のアドバイザー、国産医療機器企業のアドバイザーなどに従事し、日米の医療機器産業を学ぶ。日本における医療機器のエコシステムを確立するため、医療機器起業家育成講座(バイオデザインプログラム)を開始、それと同時に、医療機器に特化して VC, MedVenture Partners(株)を起業。日米の相違などを中心に、医療機器産業の潮流をお話する。



講師：Chief Medical Officer, Co-Founder, MedVenture Partners, Inc Program Director (U.S.) Japan Biodesign, Stanford Byers Center for Biodesign, Stanford University 池野 文昭氏

第3回例会 8月21日(水) 10:00 ~ 18:00 於：東京・表参道 アイビーホール

講演③ 「HEROZ の未来への挑戦」

～将棋 AI 技術開発を礎にした先端技術開発会社が 2018年4月マザーズ上場迄の事業発展プロセスを語る～

将棋 AI 等を開発している HEROZ(株)において、CFO として資本業務提携や東証マザーズへの上場を主導するとともに、AI を活用した BtoB サービスの新規立上げに従事。HEROZ 参画以前は、ゴールドマン・サックス証券(株)投資銀行部門資本市場本部に勤務。趣味は将棋三段・スキー 1 級。京都大学工学部情報学科卒業、同大学院情報学研究所修了、ペンシルベニア大学ウォートンスクール経営学修士(MBA)。



講師：HEROZ(株) 取締役 経営企画部長 浅原 大輔氏

第4回例会 9月25日(水) 14:00 ~ 17:00 於：東京・表参道 アイビーホール

講演④ 「CVC ファンドを活用したベンチャー企業とのオープンイノベーション」

講師：PwC アドバイザリー合同会社 パートナー 青木 義則氏 ※プロフィール、お写真、レジメ・サマリーは次項以降をご覧ください。

第5回例会 10月23日(水) 13:30 ~ 18:30 於：神奈川・横浜 京セラみなとみらいイサーチセンター

京セラ施設見学会および3氏による講演(3部構成)「(1)京セラのオープンイノベーション活動 / (2)ベンチャーキャピタリストからの特別講演」 / (3)大学教授からの特別講演

講師：京セラ(株) オープンイノベーション推進部 責任者 高橋 聡氏 「京セラにおけるイノベーション」のご紹介 ※お写真は次頁参照
 講師：(株) Groove Ventures パートナー (元 YJ キャピタル(株) 副社長) 戸祭 陽介氏 「CVC の設定・運営の実際」
 講師：国立大学法人 一橋大学 イノベーション研究センター 教授 和泉 章氏 「※講演テーマは検討中」

※第6回例会以降の開催日は中頁をご覧ください。

■ プログラムの内容

- ◆ 1回 / 月で、平日午後の開催です。
- ◆ 開催期間は 2019.6 ~ 2020.1 までの8回開催です。
- ◆ 前半(1.5時間)は最新動向に対する取り組みの紹介、後半(80分)は質問を各グループで取りまとめ後、全体討議を通して徹底内容理解。
- ◆ 事前に問題意識シートをもってメンバーの抱える問題、課題などを出し合い、メンバーのニーズ、問題意識を浮き彫りにし、研究課題を集約・重点化します。
- ◆ 集約・重点化された研究課題はプログラムに反映させ、前半のゲスト講演、事例研究の講師選定についても、ご参加者の討議課題に即した方々を招聘いたしております。

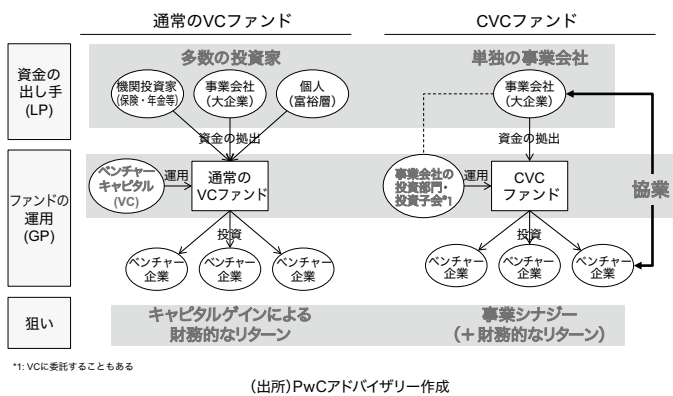
ゲスト講演、最新動向・事例研究： 14:00 ~ 15:30 ≪全体討議> 円卓固定席 毎回シャッフル	グループ単位で、ゲスト講師に質問 取りまとめのための討議 15:30 ~ 15:50	各グループからの質問に対し、 講師よりご回答 16:00 ~ 17:00
---	--	--

※通常例会は後日、質疑応答一覧および研究協力委員からのコメント・総括を添えてフィードバックする事で【講義内容】+【質疑応答議事録】を通じて(社内で活用)
※なお、第5回例会、第6回例会については、通常の運営スタイルとは異なります。「施設見学、パネルディスカッション等」

■ ベンチャー企業のスタイル (1)

通常のVCファンドとCVCファンドの違い

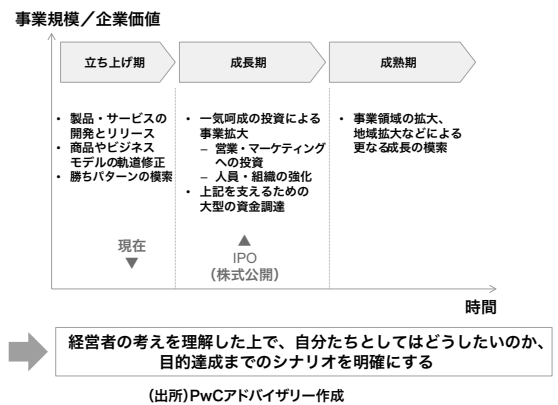
単独の事業会社が資金を拠出し、事業シナジーが見込めそうなベンチャー企業に投資するのがCVCファンドの特徴



■ ベンチャー企業のスタイル (2)

ベンチャー企業のステージを理解する

前頁にあるような支援方針を検討する上で、対象となるベンチャー企業が現在のどのステージにいるのか、各ステージに到達したときに経営者がどうしたいのかを理解することが重要



運営協力委員

<p>三井化学株</p> <p>新ヘルスケア事業開発室</p> <p>主席部長</p> <p>宇杉 真一 氏</p> 	<p>京セラ株</p> <p>オープンイノベーション推進部 責任者</p> <p>高橋 聡 氏</p> 	<p>大正製薬株</p> <p>医薬事業部門 情報検索室長</p> <p>北島 由紀子 氏</p> 	<p>凸版印刷株</p> <p>新事業開発本部 戦略投資センター 課長</p> <p>大矢 将人 氏</p> 
--	---	---	--

■ 研究協力委員のプロフィール

横浜市立大学 国際総合科学部 学部長 中條 祐介 氏

■ 経歴

1992年一橋大学大学院商学研究科博士後期課程単位修得。1992年横浜市立大学専任講師、2004年同教授。2014年国際総合科学部長、2019年理事・副学長。

■ 社会的活動

日本会計研究学会理事・評議員、日本インベスター・リレーションズ学会副会長・編集委員長、日本ディスクロー ジャー研究学会副会長、証券アナリスト試験委員

■ 研究テーマ

会計政策論、ディスクロージャー論など



PwC アドバイザリー合同会社

パートナー 青木 義則 氏

IT企業の研究所での勤務を経て、戦略系コンサルティング会社にてM&A戦略、成長戦略、新規事業開発、事業戦略、BDD、オペレーション改革、事業再生など、多数のプロジェクトをリード。その後、独立系ベンチャーキャピタルにて、CVCファンドの運用に従事。投資先のソーシングから投資検討・実行を遂行すると同時に、投資先企業に対して社外取締役としてハンズオン支援を行う。また、ファンドレイズでも中心的な役割を担う。

現在は、M&A戦略からビジネスデューデリジェンス、統合後の戦略再構築など、M&Aにかかる戦略課題を中心にクライアント企業を総合的に支援している。



■ 今期プログラム

回	月 日	研究テーマ / 講演・討議内容		
第1回	6月28日 (金)	14:00 ~ 15:30	15:45 ~ 17:00	17:00 ~ 18:00
		<p>講演① 「NTTドコモ・ベンチャーズにおけるベンチャー投資・事業共創の取組みと展開」～日本のスタートアップ企業を支える実践投資へのアプローチ～</p> <p>1. NTTグループ、NTTドコモ・ベンチャーズの事業概要</p> <p>2. ベンチャー投資の重要性</p> <p>3. 投資にあたっての留意点</p> <p>4. CVC組織に関する考察</p> <p>5. スタートアップ企業との共通成功要因と将来展望</p> <p>NTTグループのコアポレイト・ベンチャー・キャピタル機能を担うNTTドコモ・ベンチャーズでは2008年に組成されたファンドを皮切りに現在5ファンドを運用しスタートアップへの投資を行っています。当講演ではNTTドコモ・ベンチャーズの活動とその狙いを紹介し、CVCによるベンチャー投資の実際、成功への要因を議論します。</p> <p>講師：(株)NTTドコモ・ベンチャーズ マネージングディレクター 浅田 賢氏</p>	グループ討議 および 全体討議	懇親会 自己紹介含 (1h)
	於 アイビーホール			

■ 今期プログラム

回	月 日	14:00～15:30	15:30～15:50	16:00～17:00
第2回	7月24日 (水) 於・アイビーホール	講演②「医療機器ベンチャーの面白さと難しさ：シリコンバレーと日本の相違」(現役医師のVC戦略) ～国内外の医療業界のイノベティブなベンチャー企業の発掘・投資・支援活動の推進～ 1. 医療機器ベンチャーの世界的な潮流 4. 医療系スタートアップ企業の共通成功要因 2. 投資方針にあたっての留意点 5. 今後の展望 3. ベンチャー投資の重要性 ※講演サマリーについてはプロフィール共々1頁をご覧ください。 講師：Chief Medical Officer, Co-Founder, MedVenture Partners, Inc Program Director (U.S.) Japan Biodesign, Stanford Byers Center for Biodesign, Stanford University 池野 文昭氏	グループ討議	全体討議
第3回	8月21日 (水) 於・アイビーホール	講演③「HEROZの未来への挑戦」 ～将棋AI技術開発を礎にした先端技術開発会社が2018年4月マザーズ上場迄の事業発展プロセスを語る～ 1. HEROZ株式会社のご紹介 4. 上場準備プロセス概要 2. AI市場の動向 5. 上場後に成長企業としてどのように資本市場と 3. ベンチャー企業における未上場市場における資金調達環境 対峙するべきか HEROZ(株)が取り組んでいる人工知能サービスの事例等のご紹介や人工知能業界における市場動向の解説を予定しております。また、ベンチャー企業における未上場市場における資金調達環境、上場準備プロセス概要、上場後に成長企業としてどのように資本市場と対峙するべきかについても参加者の皆様と共にディスカッションを行います。 講師：HEROZ(株) 取締役 経営企画部長 浅原 大輔氏	I. 前半講演内容レビュー	II. 自社のベンチャー企業出資における課題として共通書式を通して、メンバー相互討議 III. 有志懇親会 【会社紹介】HEROZ(株)ではディープラーニング等の機械学習を活用した人工知能サービスを各産業に提供しております。現役将棋プロ棋士に勝利した将棋AI開発者等が在籍しており、2018年4月に東証マザーズに上場しております。
第4回	9月25日 (水) 於・アイビーホール	講演④「CVCファンドを活用したベンチャー企業とのオープンイノベーション」 ～事業シナジー創出で押さえておく5つの視点～ 1. CVCの現状 3. 事業シナジー創出で押さえておく5つの視点～ 2. CVCの難しさ 4. おわりに 本講演では、PwCが実施したアンケート調査より、CVC実務担当者がどの様な課題に直面しているのかをご紹介しますと共に、複数のCVCファンドの運用を支援してきた講師の経験をもとに、ベンチャー企業との協業を促進していく上での留意点について解説します。 講師：PwC アドバイザリー合同会社 パートナー 青木 義則氏	グループ討議	全体討議
第5回	10月23日 (水) 於・神奈川・横浜 京セラみなとみらい リサーチセンター	京セラ施設見学会および3氏による講演(3部構成) (1)京セラのオープンイノベーション活動/ (2)ベンチャーキャピタリストからの特別講演/(3)大学教授からの特別講演 第1部：「京セラにおけるオープンイノベーションのご紹介」 講師：京セラ(株) オープンイノベーション推進部責任者 高橋 聡氏 第2部：「CVCの設定・運営の実際」 講師：(株) Groove Ventures パートナー 戸祭 陽介氏 (元 YJキャピタル(株) 副社長) 第3部：「※講演テーマは検討中」 講師：国立大学法人 一橋大学 イノベーション研究センター 教授 和泉 章氏		有志懇親会
第6回	11月20日 (水) 於・アイビーホール	「CVC活動に向けた取組み」(事例研究) 第1部 「朝日新聞社におけるオープンイノベーションにおけるCVC活用の意味」 1. CVC設立までの経緯と現在の取組み紹介 4. CVC設計と運営のポイント 2. オープンイノベーションとベンチャー投資 5. CVCの出口戦略 3. 国内・海外スタートアップ投資の実務 講師：朝日新聞社 メディアラボ 山田 正美氏	パネルディスカッション 第2部 テーマ「CVC活動に向けた取組みと推進体制」 【朝日新聞社】【三井化学】【凸版印刷】 詳細タイムテーブルは後日連絡	
		14:00～15:30	15:10～17:00	
第7回～第8回では、一部予定が変更になりうる事もご容赦下さい。				
第7回	12月4日 (水) 於・アイビーホール	「大学によるベンチャー投資活動の推進」(何れかのテーマを検討中) 「アクセラレータプログラム」の運用と活用 グループ討議	グループ討議	全体討議
第8回	2020年 1月29日 (水) 於・アイビーホール	「ユニークな事業展開を推進してこられたベンチャー企業経営者」(事例研究) 講師：(ご依頼検討中)	グループ討議	全体討議後に、懇親会(18:00終了予定)

■ 前期の活動内容・ゲスト講師一覧 ※前期は6回開催

第1回 (出資サイドより)	「パナソニックにおけるベンチャー投資・協業の取組みと展開」～技術開発のオープンイノベーションと新事業創出アプローチ～ パナソニック(株) イノベーション戦略室(兼) コーポレート戦略本部 ベンチャー戦略室 ベンチャリング担当主幹 濱崎 省吾氏
第2回 (潮流解説)	「CVCファンドを活用したベンチャー企業とのオープンイノベーション」～事業シナジー創出で押さえておく5つの視点～ PwC アドバイザリー合同会社 パートナー 青木 義則氏
第3回 (資金活動サイドより)	『まず、やる。』から始めるスタートアップとの付き合い方 Fringe81(株) 取締役 CFO 川崎 隆史氏
第4回 (出資サイドより)	「オムロンにおけるイノベーション創出の取組み」～CVCの活用とオープンイノベーション～ オムロンベンチャーズ(株) 代表取締役社長 井上 智子氏
第5回 (出資サイドより)	「伊藤忠テクノロジーベンチャーズ設立と今後の進展」～国内外のイノベティブなベンチャー企業の発掘・投資・支援活動の推進～ 伊藤忠テクノロジーベンチャーズ(株) 代表取締役社長 中野 慎三氏
第6回 (出資サイドより)	「積水化学工業におけるCVC活動に向けた取組み」～自社ベンチャー投資・協業の取組みと展開～ 積水化学工業(株) R&Dセンター R&D戦略室部長 森川 岳生氏 同社 高機能プラスチックカンパニー 経営企画部 企画担当課長 酒井 洋臣氏

■ 「一般社団法人 企業研究会」のプロフィール

本年71年目を迎えておりますが、昭和23年発足時から受け継がれた産・学・官共同による地道な実践プログラム、さらには出版・編集活動などにみられるとおり、ますます強化され、比類なき研究機関として期待を集め、それを中心として多様かつ広範な活動が展開されています。当会歩みは戦後の経済成長を達成し、近年の国際経済・福祉社会の発展を担う企業の役割と軌を一にしているものといえましょう。さらに当会は2011年4月、一般社団法人移行を機に存在感ある信頼される経営団体を目指し、今後とも鋭意努力して参る所存です。

■ 第1期 参加企業

出光興産(株)、(株)荏原製作所、京セラ(株)、(株)小糸製作所、スタイレム(株)、積水化学工業(株)、ダイキン工業(株)、大正製薬(株)、中外製薬(株)、電気興業(株)、東京大学協創プラネットフォーム開発(株)、東芝テック(株)、凸版印刷(株)、(株)ニチレイ、ハウス食品グループ本社(株)、富士電機(株)、三井化学(株)、

■ 運営協力委員からの声

三井化学(株) 新ヘルスケア事業開発室 主席部員 宇杉 真一 氏
従来のVC投資やエンジェル投資に加え、事業会社による直接投資/CVC投資やクラウドファンディングを通じた個人投資等リスクマネー供給の多様化に伴い、新事業やイノベーション創出の担い手であるベンチャー企業/事業会社を取り巻くエコシステムが急速に高度化しています。本フォーラムでは、昨年度と同じく、ベンチャーエコシステムにおいて経験豊富な講師をお招きし、ベンチャー投資/経営の実務と課題を理解するとともに、参加者同士の交流を通じて、課題解決に向けたヒントを探っていければと考えております。

■ 研究協力委員からの声

PwCアドバイザリー合同会社 パートナー 青木 義則 氏
IoT、AI、FinTechなどの技術革新により、企業を取り巻く事業環境が激変しています。そのような中、自社単独での自己変革に限界を感じ、多くの大企業がベンチャー企業に出資したり、自らのCVCを立ち上げたりしています。一方で、そのような取り組みにはベンチャー投資に関する知見が求められ、成果を出すには様々な試行錯誤が必要となります。本フォーラムでは、経験豊富な講師との議論を通じて、参加者の皆様それぞれが、自社に相応しいベンチャー投資・協業アプローチについて考えを深めて頂ければと思います。

● 申込要項 ●

■ 参加料 ※税込み

事業コード:190361

会員 286,000円 (本体価格 260,000円)

一般 319,000円 (本体価格 290,000円)

*上記の参加料で1社2名様までご参加頂けます。(ご同伴者は原則として主登録者と同一企業の方に限ります。)

*分割支払い、次年度支払い可能です。

*メンバー有志による懇親会等を行う際は別途実費を申し受けます。

*2020年1月終了の為、税率を10%としております。

■ 申込方法 ※以下①②のいずれかの方法でお申込みください。

①企業研究会のウェブサイト

企業研究会 ベンチャー企業出資研究・実践フォーラム

検索

ページ左の申込フォームから

②メールで担当者宛に以下の項目をお送りください。

①会社名 ②ご所属・お役職 ③氏名(フリガナ) ④会社住所 ⑤メールアドレス ⑥TEL

■ お試し(体験)参加について

第1回例会は、入会ご検討中の方を対象に、正式申込前に体験参加が頂けます。当日は会合の雰囲気などご確認ください。ご希望される方はお申込み時にその旨ご教示願います。

※申込時にご記入頂いた個人情報は、本講座に関する確認・連絡および当会主催事業のご案内をお送りする際に利用させていただきます。

● 事務局担当 ●

一般社団法人 企業研究会 第3研究事業グループ 担当: 田口 三男

〒102-0083 東京都千代田区麴町5-7-2 MFPR麴町ビル2F

TEL: 03 - 5215 - 3511 FAX 03 - 5215 - 0951

E-mail: taguchi@bri.or.jp